

2008・広大マスタースズ市民講座報告

子と親のための「野っ原探検講座」第2回 「みどりの牧場で土の世界探検」

安藤 忠男

幸い、雨天の合間の晴天日となった9月14日（日）、前回と同じく8組の親子21名を含む29名が広大附属農場で楽しく過ごしました。午前中は土をつかった簡単な実験をしたり、ブラジルやインドの土を触りながら、クイズ形式で「土とはどんなもの？」について勉強した後（写真1）、土をこねて思い思いのモノ作りに取り組みました。この日に誕生日を迎えた弟へのバースデーケーキ、農場の牛、お月見団子などなど素晴らしい作品ができました（写真2）。

お昼は農場の芝生で昼食パーティー（写真3）。参加者が持ち寄ったおいしいお弁当を皆で食べてお腹を満たした後は、農場の牛さん、羊さん、豚さん、山羊さんにご挨拶（写真4）。それから牧場の草地まで散歩して岩石からできた土の断面の観察しました（写真5）。足もとの土の中を初めてじっくり見た子供達も多かったようです。



写真1



写真2



写真3



写真4

広々したところに出るとじっとしてはられない子どもたちは、草地の小高い地点まで競争で駆け上がり、息を切らせて眺めの素晴らしさに感心（写真6）。そのあとは広大総合科学部、文学部、工学部の学生諸君4名の指導でヒツジとオオカミなどの牧場に関係に深いゲームを楽しみ（写真7、8）、次回（10月13日）の里山での再会を約束して午後2時半に散会しました。

なおこの講座は、その日の午後7時前のNHKニュースで紹介されました。



写真5



写真6



写真7



写真8